

## 平成 23 年度第 3 回理事会次第

日 時 平成 23 年 7 月 30 日 (土) 10 : 00

会 場 千葉県社会福祉センター3 階会議室

1. 出席者及び資料の確認
2. 開会
3. 会長挨拶
4. 議 題 (1) 日本社会福祉士会災害支援研修報告  
(2) 各委員会報告事項に対する質疑  
(3) 議事 1. 役員選挙について  
          2. 法人後見業務監査委員について  
(4) その他
5. 閉会

<三団体研修ワーキングチーム①>

日時：平成 23 年 6 月 14 日（火） 19 時～21 時

参加：4 名 CSW 高橋、MSW 蟻川・吉成、PSW 松田

1. 福祉の仕事フェアへの参画について

※6 月 9 日に福祉人材センター長、事業担当者と打ち合わせ（CSW 櫻井・高橋）

参加目的) 福祉の仕事フェアに来場している方へ千葉県 SW3 団体協議会の紹介を行うこと。ソーシャルワーカーという職業の紹介。

対象者) 求職活動をしている学生（高校生、専門学校生、大学生など）  
既に資格を有している方

福祉系の大学や専門学校への進学を志望している学生や社会人 など

日時場所) 7 月 16 日（土）幕張メッセ 国際会議場 201 会議室ほか

内容) ①SW3 団体として紹介ブースを設ける。（現在は CSW と PSW は参加している。）

②SW という仕事を紹介したパンフレットの配布。

③AM10:30～11:30 福祉のしごとセミナーにて、「SW の一週間」という枠組みで現場の職員が発表をする。（定員 100 名、養成校等に PR 予定）

2. 詳細事項 「swの一週間」の発表について（③について）

・演者は各会より 2 名ずつ出し、計 6 名とする。

・時間は 1 人 8 分で、パワーポイント使用。1 週間の予定や、やりがい、伝えたい思いを語る。

・事前に 1 週間のスケジュールを資料として作成。（書式作成：PSW 松田）

・「連携」の部分を積極的に伝えたい。資料も連携の部分は色をつけるなど工夫する。

・対象が学生なのであまり難しくなくざっくりばらんに・・・

・スケジュールのほか、コメント欄を設ける。（志望動機、思わずガッツポーズをしてしまった瞬間、苦労やへこんでしまったこと、SW を目指すあなたへ）

・質疑応答の時間がとれないため、演者で残れる人は午後のブースに待機をお願いする。

・当日の司会進行：CSW 櫻井

・演者の交通費については人材センター扱いとなるため、手続き確認：CSW 高橋

3. その他 今後の WT スケジュール

・演者の資料の締め切りを 7 月 3 日、次回 WT を 7 月 5 日～7 日の一番出席者が多い日、7 月 13～14 日あたりまでに最終修正をしてチラシを県社協へ提出

<三団体研修ワーキングチーム②>

日時 平成 23 年 7 月 7 日（木） 19 時～21 時

参加者 6 名 CSW 櫻井・高橋、MSW 蟻川・吉成、PSW 安藤・松田

1. 就職フェアの参加

I. 7 月 16 日（土）当日の確認

・集合時間 9 時 30 分（演者の方も）

・集合場所 国際会議場 201 会議室

・セミナー司会 櫻井（CSW）

- ・司会から、発表者の前に3団体の説明を加える。
- ・発表者順 ①習志野市社協（矢島さん）②児相（能勢さん）③千葉リハセン（岡部さん）  
④東葛病院（豊田さん）⑤中村古峽記念病院（安藤さん）⑥元気村（木津さん）
- ・発表の趣旨について  
SW の役割は多様化し、自己の所属する機関で全てのニーズに対応できるようなものではなく、他職種と連携が機能することによって一人の人を支援していけるということを参加者へ伝えていくこと。
- ・質疑の時間が限られているため司会者は午後13時から3団体専用のブースで発表者に質問ができるということをガイダンスする。

## II. 事前準備関係

- ・配布資料について（配布資料は2種類）
  - ①団体の紹介（A3） 裏面印刷なし、白黒コピー  
右側の各団体の説明文は独自で作成。PSW 協会は11日か12日までに決定して提出。事務局の案内にはHPアドレスを記載。（取りまとめ：MSW 吉成）  
上段にはソーシャルワーカーディというものがあることが日本にも存在すること、千葉県 SW 三団体連絡協議会の説明を加える。下段に高知県からテキストを転写していることを記載する。
  - ②演者が用意をするパワーポイントの印字配布はしない。  
SW の1週間の表は配布をするが、所属機関と医療機関とか事業所という分類を記載し、表の氏名は記載しない。両面コピーをして2枚にするか片面のみで3枚とするかはコピーをする主催側に委ねる。（校正：PSW 松田、提出：CSW 高橋）
  - ③印刷物の取りまとめ：CSW 高橋（7月13日締切）
  - ④当日使用するパワーポイントは事前に ML で共有（PPT2010動作確認要）
- ・当日の人数（演者含む） 合計14名  
医療社会事業協会（8）、社会福祉士会（4）、精神保健福祉士会（2）
- ・演者の交通費費用弁償について、主催者へ必要書類の提出：各会で対応
- ・関係者が車で来場する場合は所定の無料駐車場があるため事前に主催側に申請が必要。  
取りまとめ：CSW 高橋（各自、車種、車番、色を報告）

## 2. 三団体合同研修

- ・日程の候補は11月20日（日）以外の日曜日。
- ・会場は毎年お世話になっているが総武病院さんへお願いをする。  
（次年度はソーシャルワーカーディとして位置づけ、会員の研修会や一般向けの講演会などのプログラムを想定しているため、長時間、複数部屋使用となることを受け、大学などの機関を会場として利用できないか調整をしていく。）
- ・テーマ案としては、来年7月のswディへ繋げていくための前段として考え、以前の検討では「無縁社会」として警察の方を招いて語っていただくこととなっていた。現状では講師依頼をしていないことや世相を考え、「災害支援」を主題とすることも検討をする。グループワークについても要検討。  
\*具体的な内容については7月16日の福祉の仕事フェア中やフェア終了後に時間を設けて検討する。

<三団体研修ワーキングチーム③>

日時：平成 23 年 7 月 16 日(土) 午後

場所：就職フェア会場 控え室

参加者 6名 CSW 櫻井・高橋、MSW 蟻川・吉成、PSW 安藤

1. 三団体合同研修

① 日時、場所、構成、スケジュール

11月27日(日) 午後 総武病院 ライブケアセンター (案)

前半を講演、後半をグループワークとする。

10月1日までに最終チラシ発送、11月10日を締切とする。

② テーマ

・これまでの検討であがっていた、柏警察署生活安全課の方を招いての講演、もしくは震災対応のエキスパートを講師に招くのはどうか。

・後半のグループワークは、震災を経てコミュニティ作りを見直す視点から、「ソーシャルワーカーがハザードマップを作ったら・・・」という投げかけでワールドカフェをおこなうのもよい。

・についてはワールドカフェのファシリテートに認定資格等が必要なのか確認をする。

<企画部会①>

日時：平成 23 年 7 月 3 日(日) 10:00~12:00

場所：千葉中央コミュニティセンター

出席者：岡本(崇)、櫻井、四ノ宮、鈴木、高橋、森池

1. 災害派遣について

5月末で社会福祉士会のいわき市派遣は終了。

引き続き日本社会福祉士会等への登録により活動を行う予定。

2. 地域集会・世話人会

(1) 地区担当制の導入

いくつかの地区ごとに一人、部会員が担当となり、その地区の世話人と連絡を取り合ったり、活動の支援を行っていく。申請や報告のメールに対しても、担当者が返信を行い、世話人に対しても、部会でバックアップしていくことを伝えていく。

担当は以下のとおり(案)

東葛エリア・・・・・・・・・・・・・・四ノ宮

習志野・八千代・千葉市エリア・・・・・・・・岡本(武)

成田・佐倉・山武エリア・・・・・・・・森池

旭・銚子エリア・・・・・・・・櫻井

市原エリア・・・・・・・・上野

茂原エリア・・・・・・・・高橋、宇津木

南房総エリア・・・・・・・・随時対応

(2) 世話人会開催

7月30日 13:00~15:00 を予定

### 3. 三団体研修・協議会報告

#### 今年度活動について

- ・ 7 月 16 日福祉の就職フェア（県社協主催、会場は幕張メッセ国際会議場）の午前中に行われるセミナーに参加する。午後は、三団体ブースを設置し、質問に対応する予定。
- ・ セミナーの内容は『SW の 1 週間』とし、各団体から 2 名ずつ発表者を選出し、仕事の内容、やりがい、連携などを語ってもらう。
- ・ 当日はWTメンバーにて運営を行う予定。必要あれば部会メンバーにも参加を呼び掛ける。
- ・ 当日の参加者には、三団体会計より交通費等の支給を行う方向。
- ・ 11 月の研修については、16 日のセミナー終了後に大まかな予定をWTにて話し合う。
- ・ 次回三団体協議会は 7 月 17 日。

#### <企画部会②>

日時：平成 23 年 5 月 29 日(木) 16:30~17:30

場所：千葉県社会福祉センター

出席者：岡本（崇）、岡本（武）、櫻井、四ノ宮、鈴木、高橋、目黒、森池

#### 1. 企画部会活動事業の確認

新しく部会員となった方もいたため、改めて部会活動について確認を行った。

#### 2. 新規事業アイデア募集について

- ・ 災害福祉については、計画段階で震災が起きるという結果になったが、千葉県社会福祉士会として、いわき市への部会員派遣など精力的に活動している。企画部会員についても、いわき市、旭市へ赴いている。
- ・ 連携システムについては、具体的に進んでいないため、報告なし。

#### 3. 地域集会・世話人会

##### (1)地区担当制の導入

いくつかの地区に一人、部会員が担当となり、その地区の世話人と連絡を取り合ったり、活動の支援を行っていく。申請や報告のメールに対しても、担当者が返信を行い、世話人に対しても、部会でバックアップしていくことを伝えていく。

##### (2)世話人会開催

震災により、年度末の世話人会が延期となっていた者の開催を目指す。

候補日としては、7 月 30 日の基礎研修会に合わせて開催し、時間のある方は、自分の地域の新人たちに声をかけていってもらう。そこで、地区担当制について発表できればよいのではないかと。

#### 4. 三団体研修・協議会報告

##### 今年度 SW デーについて

- ・ 7 月 16 日福祉の就職フェア（県社協主催、幕張メッセにて、500 名参加）に相乗りして、SW の仕事および団体紹介を行なう
- ・ 内容：『SW の 1 週間』、各団体 DVD などの展示（3 名ほど発表者を依頼していく。）
- ・ ワーキングチーム活動継続中

平成 23 年度第 3 回理事会 報告資料 1-2 (page : 1)

会議・研修会記録票

|   |                          |                     |
|---|--------------------------|---------------------|
| 日時  | 平成 23 年 7 月 6 日          | 19 時 30 分～21 時 30 分 |
| 場所  | 沼南地域包括支援センター相談室          |                     |
| 出席者(人数)   | 7 名                      |                     |
| スタッフ  | 鈴木・山口利・瀧澤・草間・香川・松本 (順不同) |                     |
| <p>(1) 第 76 号のページ割り振り見直し 校正担当割り振り</p> <p>1 P : 表紙・リード文 ⇒会長の文書 【森・松本】</p> <p>2～4 P : 被災地支援活動レポート 【鈴木・滝澤】<br/>※既存レポートの中から抜粋</p> <p>5 P : 千葉県社会福祉士会よりお知らせ タイトル変更<br/>「内閣府に本会提案が採用されました」 【森・松本】</p> <p>6～7 p : 特集(就労支援)十輪 【香川・岡田】</p> <p>8～9 p : コラム『震災から学ぶ(仮)』タイトル変更<br/>コラム「震災から学ぶ～旭市の福祉施設の対応から」【山口利・草間】</p> <p>10 P～14 p : 研究投稿 【研修部会】</p> <p>15 P : 三団体リレーコラム 【山口利・草間】</p> <p>16 P : 事務局便り 【山口利・草間】</p> <p>(2) 発行までのスケジュール</p> <p>4/20 (水)～4/28 (木) 第 1 回編集会議</p> <p>6/7 (火) 原稿〆切</p> <p>7/5 (火) 第 2 回編集会議</p> <p>7/7 (木) ⇒ 特集 1 を除いたレイアウト落とし込み</p> <p>7/10 (日) ⇒ 1 次校正 ※広報共有メールへ</p> <p>7/11 (月)～7/18 (火) ⇒ 2 次校正<br/>※2 次校正担当から部会長へ メール 確認後部会長から編集担当へ</p> <p>7/24 (日) ⇒ 被災地支援活動レポート リード文コメント作成</p> <p>7/19 (火)～7/24 (日) ⇒ 最終レイアウト</p> <p>7/25 (月)～28 (木) ⇒ 部会長最終チェック→入稿</p> <p>8 月後半 ⇒ 発送作業 世話人会へ打診してみる。</p> <p>(3) 次号 編集会議</p> <p>場所：沼南地域包括支援センター<br/>(予定)</p> <p>10/4 (火) 原稿〆切</p> <p>10/5 (水)～10/11 レイアウト落とし込み</p> <p>10/12 (水)～10/18 (火) 1 次校正</p> <p>10/19 (水)～10/25 (火) 2 次校正</p> <p>10/26 (水)～11/1 (火) 最終レイアウト</p> <p>11/2 (水)～11/5 (土) 部会長最終チェック→入稿</p> |                          |                     |

## 東日本大震災に関する支援活動について

被災者支援担当 鈴木将人

### 1. 組織的な支援として

#### ① いわき市支援について

いわき市支援については、5 月末で終了して以降、組織としての支援は行っていないが、個人的な支援活動が続けられている。いわき市災害救援ボランティアセンタースタッフとは、継続的に連絡を取り合い、状況を確認している。必要に応じて、今後改めて組織手市支援を行う可能性はあるが、現在は未定。

#### ② 旭市支援について

旭市の地域包括支援センターから依頼を受けていた、見守りケースについて、見守り支援の終了と同時に旭市への支援についても現段階では収束した。今後は旭市災害ボランティアセンターから、ボランティアニーズが上がってきた際に対応することとしたい。

### 2. 日本社会福祉士会より

千葉県社会福祉士会からの登録が 2 名であり、1 名については岩手県に派遣済み、もう 1 名については、8 月に宮城県に派遣予定となっている。

日本社会福祉士会は、現状で 8 か所に 15 名を毎日派遣している状態であり、派遣ボランティアのコーディネートがギリギリの状態となっている。千葉県社会福祉士会としては、4 月の段階で派遣会員リストを送信しているが、項目不備のため使用されなかった。その後、登録会員に呼びかけているものの派遣に対応できる会員は現れていない。

今後、日本社会福祉士会 山村会長と打ち合わせの予定あり。

地域包括支援センター部会報告事項

報告事項

高齢者虐待対応標準研修のための「講師予定者研修会」について  
6月25、26日に大阪で研修を4名が受講（岡本、小倉、朽名、山崎）。

高齢者虐待防止対策研修会（虐待対応現任者向け）

9月13日、9月20日、9月27日

内容は下記の通り（ファシリテーターを確保するのが難しいため、講義の内容に若干変更が出る可能性あり）

①平成23年9月13日（火）、20日（火）、27日（火）

〔1日目〕

9:10～9:30 受付

9:30～9:40 開会挨拶 千葉県健康福祉部高齢者福祉課  
【オリエンテーション】千葉県社会福祉士会

9:40～11:10【講義】高齢者虐待防止法と市町村の責務  
・虐待防止法の内容と法に定められている市町村の責務を理解する。  
講師：千葉県弁護士会（講師未定）

11:10～11:20 休憩

11:20～12:50【講義】高齢者虐待防止法と市町村の責務  
・虐待対応の基本的な流れを理解し、虐待対応ソーシャルワークモデルの視点とポイントを理解する。

講師：千葉県社会福祉士会 目黒 義昭

12:50～13:50 昼食休憩

13:50～14:50 【講義】初動期段階

・通報受理、事実確認や緊急性の判断等初動期の対応のポイントを理解する。  
講師：千葉県社会福祉士会 朽名 高子

14:50～15:00 休憩

15:00～17:00 【演習】初動期段階

・「受付票」「共有協議票」「事実確認票」「アセスメント票」「コアメンバー会議録・計画書」を体感する。

講師：千葉県社会福祉士会 朽名 高子

〔2日目〕

9:30～10:30 【講義】対応段階

・虐待の背景・要因をアセスメントし、支援計画を策定するポイントを理解する。  
講師：千葉県社会福祉士会 滑川 里美

10:30～10:40 休憩

10:40～12:40 【演習】対応段階

・「アセスメント票」「対応会議録・計画書」を体感する。

講師：千葉県社会福祉士会 滑川 里美



12 : 40 ~ 13 : 40 昼食休憩

13 : 40 ~ 14 : 40 【講義】評価と終結

- ・対応計画の評価と虐待対応機関としての支援の終結について理解する。

講師：千葉県社会福祉士会 岡本 崇広

14 : 40 ~ 14 : 50 休憩

14 : 50 ~ 16 : 20 【演習】評価と終結

- ・「評価票」を体感する。

講師：千葉県社会福祉士会 岡本 崇広

### 〔3日目〕

9 : 30 ~ 12 : 30 【総合演習 1】初動体制

- ・虐待対応の一連の流れを、具体的事例の演習を通じて理解する。

講師：千葉県社会福祉士会 山崎 泰介

12 : 30 ~ 13 : 30 昼食休憩

13 : 30 ~ 16 : 30 【総合演習 2】対応段階、評価

- ・虐待対応の一連の流れを、具体的事例の演習を通じて理解する。

講師：千葉県社会福祉士会 山崎 泰介

16 : 30 ~ 16 : 40 閉会挨拶 (社) 千葉県社会福祉士会

**相談事業部会報告事項**

平成 23 年度第 1 回「福祉のしごと就職フェア・in ちば」の相談コーナーについて

平成 23 年 7 月 16 日 午後 1 時～4 時 幕張メッセ国際会議場開催。

出席者 辻村氏、森澤氏

参加者からの報告

- ・全体の来訪者はかなり盛況だった。
- ・社会福祉士会のブースへの相談者数は 12 名で、ほぼ途切れることなく対応した。
- ・社会福祉士の資格をすでに持っている方の、相談が多かった。
- ・目黒副会長が午前中のセミナーに出席されたそうで、午後のフェアにも様子を見に来てくれた。

[研修委員会]

研修啓発部会

【報告事項】

- 1、 共通基盤研修  
平成 23 年度 2 領域の開催内容 (別紙)
  
- 2、 基礎研修 本日午後開催
  
- 3、 平成 23 年度 実習指導者講習会  
日時 平成 23 年 11 月 21 日 (月) ~22 日 (火)  
場所 労働福祉センター  
定員 100 名 ※昨年度 150 名

## 平成 23 年度共通基盤研修

①日程:平成 24 年 2 月(土・日いずれか)

※ 11 月上旬頃、詳細日時が決定する予定です。決定次第、ホームページにてお知らせいたします。  
 会員様へは、郵送またはメール配信にてお知らせいたします。

②場所:千葉県社会福祉センター4 階会議室(予定)

③概要

現在、共通の基盤として、「権利擁護」、「生活構造」、「相談援助」、「地域支援」、「福祉経営」、「相談援助」の 6 領域が位置づけられています。

今年度、当会では「福祉経営」と「相談援助」の 2 領域についての研修を行う予定です。

④内容:

9:00～受付

9:30～オリエンテーション

10:00～「社会福祉士がとらえる福祉経営」

講師 千葉県社会福祉士会 大澤 直樹氏

12:00～昼休憩

13:00～「社会福祉士がとらえる相談援助」

講師 城西国際大学 小川 智子氏

15:30 終了

⑤受講料:会員 2,000 円、非会員 3,000 円

⑥申込方法:詳細日時決定後、お知らせいたします。

- 共通と分野のバランスよい研修の受講
- 段階を踏まえた研修の受講



## 平成 23 年度 第 1 回介護サービス情報公表部会

### 全体会議 議事録

日 時：平成 23 年 7 月 19 日（火）19：00～21：00

場 所：千葉県社会福祉センター4階研修室

参加者：千葉地区～富樫・佐野・浅見・杉山・辻村

船橋地区～耀・今川

東総地区～山口・出口

東葛地区～越川・草間・奥野

南部地区～田村・川島・丸

合計 15 名

欠席者：中山・実川・大浦・山内・柴崎・佐々木

合計 6 名

- 議 題：1. 平成 23 年度調査日程及び内容の確認  
2. 担当調査員割り振り

内 容：1. 平成 23 年度調査日程について

冒頭、先日開催された、公表センター説明会の内容の伝達を行なう（川島副部長より）

- ・今年度については、前年度の調査システムが踏襲されており、大きな変更はないこと
- ・平成 24 年度以降、情報公表制度自体がどのように推移していくか、公表センターサイドでも不明瞭なこと
- ・翌年度以降に備え、今年度の調査は 2 月末日で全て終了させて欲しいという意向があること

以上の点の伝達を行なった。

これを受け、当部会でも 2 月終了に向けて、調査を実施していく事を確認した。

#### 平成 23 年度役員の確認

部会長：丸

副部会長：川島

会 計：山口

千葉地区責任者：辻村

東総地区責任者：出口

船橋地区責任者：耀（今会議にて決定）

南部地区責任者：田村（今会議にて決定）

東葛地区責任者：未定（8/10 までに決定）

#### 今後の日程

- ・8 月 10 日までに各地区担当調査員の決定（事務局へメールにて連絡：責任者より）
- ・謝金の払い出し開始は調査が開始される 9 月（とりまとめ、実際の払い出しは 10 月）を第 1 回目とする。

(今回の会議関連費用についても、その際にまとめて精算していただく)

担当調査員の割り振りについて

船橋地区が調査員 3 名に対し、119 件の調査となるため、対応策を協議。

船橋地区調査員より可能な限り、地区の調査員で対応する旨の返答を頂く。

その際、一部地域のみ、船橋地区調査員の対応でなく、他地区（千葉、東総）調査員の協力を仰ぐこととなった。

以上の条件で、各地区で担当調査員の割り振りを依頼した。

次回会議は未定（必要に応じ日程調整したうえで、参加予定者に連絡することとする）

（名前標記は全て敬称略）

以上

文責：丸

ばあとなあ千葉の報告

平成23年度第3回運営委員会議事録（一部追加・修正記載）

1. 実施日時：平成23年7月9日(土)
2. 場所：社会福祉センター4階会議室
3. 出席者：鈴木、吉田、櫻井、朽名、石山、中山、片野、出口、(8名)  
(欠席) 辻村、篠田、福島、田中  
記録：片野
4. 議事
  - 1) 平成23年度第2回理事会(5/29)の報告  
鈴木委員長より、第2回理事会の報告あり。  
東日本大震災に関する報告、司法書士との合同研修会、旭市への支援  
社会福祉士会独自の動き、その他報告
  - 2) 平成23年度成年後見人養成研修(委託集合研修)について  
参加申し込み者27名全員から参加費の振込みあり。  
第1回目のレポート提出あり。
5. 各担当よりの報告
  - 1) 研修(出口)  
登録員研修：6月18日(土)に実施  
参加者 登録員23名、準登録員9名 計32名  
会費収入 32,000円  
ばあとなあ千葉サポート：  
第1回 4月16日(土) テーマ 銀行取引  
講師 鈴木 委員長 参加者 34名  
第2回 5月21日(土) テーマ 生活保護  
講師 中野 多佳子 参加者 20名  
第3回(予定) 7月23日(土) テーマ 死後の事務  
講師 弘永 正秀 参加者募集中 参加者 24名  
第4回(予定) 9月18日(日) テーマ 家族との関わり方  
なお、講師には謝礼3,000円、スタッフには500円、プラス交通費実費を支給する。  
委託集合研修：本運営委員会終了後に別途打ち合わせ会を実施した。
  - 2) 法人後見(吉田)：担当事案について現況報告あり。(報告内容省略)
  - 3) 広報(福島委員よりの伝言)：ばあとなあ千葉会報は7月15日発行予定。  
6月末までに原稿の提出求めていた。原稿提出よろしく。
  - 4) 虐待防止(朽名)：大阪での研修会参加の報告。9月に千葉県の高齢者虐待の研修あり。

- 5) コーディネート(鈴木) : 6月末時点で依頼案件 40 件あり。昨年より若干増えている。市民後見人養成について、市町村が行うことになったが、厚労省が行うモデル事業は、千葉県で実施されるのは松戸市のみ。  
コーディネーター報酬について、鈴木委員長より、昨年度は 1 回 3,000 円支払っていたコーディネーター報酬を今年度は 2,000 円に減額することとしていたところ、コーディネーターの実務上の負担が時間的にもかなり増大している現状に鑑み、2,000 円ではなく 2,500 円とすることとしたい旨の提案があり、本件了承された。
- 6) 会計 : 辻村委員より別途 6 月末までの会計報告およびチェック依頼が出ているので、各自チェックのこと。
- 7) 電話相談(片野) : 6 月 18 日(土)に電話相談員の研修会を実施した(参加者 10 名)。  
この研修会において提起された意見を集約し、電話相談に関するマニュアルを作成することとなっている。片野作成のマニュアル原案について検討、マニュアルについては、さらに細部を詰めることとするが、電話相談員については、現在の相談員に加えて新たに相談員を募集することとし、7 月発行の会報で希望者を募ることとなった。

6. その他 :

- ① (櫻井副委員長より) ばあとなあ千葉には文書の保存期限に関する規定がないので、新たに作成する必要があるとの提案がなされ、千葉県社会福祉士会の文書規程として作成するよう理事会に諮ることとなった。
- ② (櫻井副委員長より) 千葉県から他県に異動した会員のケースについて報告があり、ばあとなあ千葉としての取り扱いについて、すなわち、どちらの県士会が担当事案の報告を受けるかについて、本部の見解を照会してもらうこととなった。

( 次回 運営委員会開催予定日 : )



## 独立型社会福祉士委員会 会議次第（第2回）

|        |   |    |             |
|--------|---|----|-------------|
| 開催日/時間 | H23年6月18日(土)10時～12時   | 場所 | 千葉県社会福祉センター |
| 参加者    | 川島隆太、吉田愛子、浅見雅人、佐野由佳里、田村俊道、吉原俊幸、豊下智大   |    |             |
| 議題/内容  | 1新規参加者・参加者自己紹介、近況・理事会報告、今年度の活動について、社会復帰支援・社会貢献活動部会より 10時～11時30分<br>→独立型ガイドブック、研修会の開催について、担当者割り当てなど  |    |             |
|        | 2 次回以降について、フリートーク<br>→次回は、8/20(土)10時より、千葉県社会福祉センターにて開催予定。講師は犬伏氏の更生保護等についての予定です。   |    |             |
|        |   |    |             |
|        |   |    |             |
| 意見・その他 | <p>◎災害支援活について、田村さんより、旭市仮設住宅での活動(お皿等の配布など)についてお話を頂きました。6/19と7/9にも行われる予定とのことです。</p> <p>◎独立型社会福祉士ガイドブックについては、ばあとなあの一問一答集を参考に、会員や皆様から、独立型社会福祉士に対する疑問・質問・アンケートを求めて、それにベストアンサー的に説明していく部分と事務所・事業所の紹介・PR・名簿、事例報告・事業計画などを発表するという内容でいってはどうかという意見があった。独立型社会福祉士に関するアンケートについては、配布等を含めて検討・進めていきたい。原稿の完成は未定だが、10月中を目指していきたい(それには多くの方の協力が必要...)。また、独立型社会福祉士 研修・報告会については、他県の開催要項などを参考に話し合った。2012年2月～3月の開催を目指していきたい。グループディスカッションなどを取り入れていきたいが、それには、「何を話し合うか」が重要だが、独立している方については、「今の活動の発表とそれについての意見交換」、独立していない方については、「もし独立したらどんな活動をしていきたいか」などを語ってもらおうと言ったような内容で考えていきたいが、今後、詰めていきたい。</p> |    |             |

【事務局報告】

○ 後援

- ・ 平成 23 年度 第 1 回「福祉のしごと就職フェア・in ちば」 7 月 16 日
- ・ 千葉県がん患者大集合 2011 ～あなたが選ぶがん医療～ 9 月 4 日
- ・ 第 5 回認知症メモリーウォーク・千葉 10 月 2 日

○ 来賓依頼

- ・ 千葉県在宅サービス事業者協議会 平成 23 年度通常総会基調講演会 6 月 15 日 目黒副会長

○ 委員推薦

- ・ 千葉県訪問介護フォーラム実行委員 周藤秀俊
- ・ 千葉県認知症対策推進協議会委員 目黒副会長
- ・ 日本社会福祉士会滞日外国人支援委員会委員 南野奈津子
- ・ 千葉県後見支援センター 成年後見制度推進マニュアル作成委員会委員 吉田愛子
- ・ 千葉県 (仮称)福祉人材確保・定着フォーラム第 1 回実行委員会 7 月 25 日 相澤雅則 (公募)

○ 講師派遣

- ・ NPO 法人鎌ヶ谷たんぽぽクラブ 成年後見人制度啓発事業 第 2 回講演会 7 月 2 日 吉田愛子
- ・ 千葉県社協 第 1 回福祉のしごとセミナー 7 月 16 日 櫻井絢子、矢島未季、能勢綾子
- ・ NPO 法人マーブル福祉会 成年後見人制度の講演会 9 月 (日程未定) 市川澄子
- ・ 千葉県立君津特別支援学校 第 1 回 PTA 進路研究会 成年後見制度 9 月 20 日 石山明子

○ その他

- ・ 関東甲信越ブロック連絡協議会 関東甲信越連絡協議会(臨時) 6 月 18 日 神山会長
- ・ 千葉県社協 23 年度第 2 回理事会 7 月 5 日 神山会長
- ・ 千葉県社協 第 1 回福祉のしごと就職フェア 7 月 16 日 相談コーナー協力依頼  
辻村雄司、森澤よし江
- ・ 日本社会福祉士会 スーパービジョン研修 I の検証研修 全 9 回 西沢将行、森池亜津子、浅見将人
- ・ 千葉県高次機能障害支援ネットワーク連絡協議会 8 月 10 日 <未定>
- ・ 赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」助成事業 第 2 次助成決定  
活動名 千葉県社会福祉士会被災者支援プロジェクト 助成決定額 86 万円

○ 寄贈

- ・ 第 19 回日本社会福祉士会全国大会(京都大会) 被災県の社会福祉士会へ大会参加者が折った千羽鶴

\*\*\*\* 会員情報 \*\*\*\*

6 月 30 日現在 正会員:1,216 名 (新入会:19 名、転入:2 名、転出:0 名、退会:5 名、)

➤ 7 月本部会員情報より